

STAP 研究に関する CDB 自己点検について

理化学研究所発生・再生科学総合研究センター(CDB)は、野依理事長から STAP 研究に関するセンター自己点検についての指示を受け、CDB における運営の自己点検を実施。自己点検の項目は以下の通り。

- (1) STAP 研究における著者の役割は多岐に渡り、その責任の重みも一様ではない。「研究論文の疑義に関する調査委員会」の報告を踏まえ、STAP 研究及び論文作成の経緯を調査し、それらに関わった各研究者の関わり方を時系列に沿って検証することにより、問題が生じた理由、問題が見落とされた原因等を探る。
- (2) 研究リーダーの採用とメンタリングの課題を再検証する。また、このような事態を招いた CDB におけるセンター運営上の課題を検証する。
- (3) 論文の報道発表に至る経緯を分析し、研究成果の社会への発信に係る課題について検討する。

以上